



「ひろしまピースカップ」が12月6日～9日の日程で開催される。S班2名をはじめ、競走得点110点を超える選手が顔をそろえるハイレベルなシリーズ。ライバルは強力だが、松浦悠士、池田良の地元勢は強い気持ちで記念初優勝を狙う。最終日6RのS級ブロックセブン（展望は裏面に掲載）にも井上昌己、守澤太志ら好メンバーがそろつた。

三谷竜生、稲垣裕之に追加参戦の藤木裕と機動型がそろった近畿勢が優勝争いをリードする。三谷はグランプリを前に、これが最後の実戦。まぐり不発に終わった昨年のグランプリの悔しさをバネに、今年は昨年以上の成績を残した。2月高松の初優勝から記念を

3連覇し、ダービー、高松宮記念杯とG1連覇も飾った。村上博幸、清水裕友とグランプリメンバーが続々と欠場するなか、参戦を決めたのは実戦の感覚を鈍らせないために他ならない。ここでしつかりと結果を残して暮れの大一番に向かう。稲垣は3月小倉での落車からかみ合わない状態が続いているが、10月豊橋記念で優出すると、続く取手記念でも2勝を挙げいる。三谷、藤木に中西大と今シリーズは前を任せた頼もしい後輩がそろつたチャンスのあるなど徐々に立て直ってきてる。

三谷竜生



後輩がそろつたチャンスのあと、三谷竜生、稲垣裕之に追加参戦の藤木裕と機動型がそろつた近畿勢が優勝争いをリードする。三谷はグランプリを前に、これが最後の実戦。まぐり不発に終わった昨年のグランプリの悔しさをバネに、今年は昨年以上の成績を残した。2月高松の初優勝から記念を

3連覇し、ダービー、高松宮記念杯とG1連覇も飾った。村上博幸、清水裕友とグランプリメンバーが続々と欠場するなか、参戦を決めたのは実戦の感覚を鈍らせないために他ならぬ。ここでしつかりと結果を残して暮れの大一番に向かう。稲垣は3月小倉での落車からかみ合わない状態が続いているが、10月豊橋記念で優出すると、続く取手記念でも2勝を挙げいる。三谷、藤木に中西大と今シリーズは前を任せた頼もしい後輩がそろつたチャンスのあるなど徐々に立て直ってきてる。

三谷竜生

後輩がそろつたチャンスのあるなど徐々に立て直ってきてる。

三谷竜生

後輩がそろつたチャン